

倉田 博之 E-mail:kurata@bio.kyutech.ac.jp Tel:0948-29-7828 http://www.bmirc.kyutech.ac.jp

大平 猛

http://www.bmirc.jp/bmd/2015/(←お問い合わせからもお申込みいただけます)

## デザイン思考による医工情報連携 イノベータの育成のためのワークショップ

飯塚医療イノベーション推進会議(飯塚市、飯塚病院、飯塚研究開発機構、九州工業大学)では、米国シリコンバレーと連携して、医療機関や 医療、看護、介護に関する隠れたニーズを発見して、そのニーズを解決するデザイン思考の研究開発に取り組んでいます。

2015年度、九州工業大学大学院情報工学府にバイオメディカルデザインコースを設置し、医療機器や医療情報システムのイノベーションを行うグローバルリーダーを育成し、飯塚から医療イノベーションを起こします。

## 平成27年3月3日(火) ~デザイン思考による医工情報連携イノベータの育成のためのワークショップ~プログラム

13:00~13:10 開会挨拶 九州工業大学情報工学研究院長 延山 英沢

13:10~13:30 飯塚医療イノベーション推進会議の紹介

飯塚病院

飯塚市経済部産学振興課 産学連携室長 仁田 純一

13:30~14:30 基調講演「先端医療製品開発の要件とその実際:ロボティクスサージェリー機器開発・パンデミックシステム開発」

九州大学 先端医療イノベーションセンター 低侵襲先端医療学研究部門 教授 大平 猛

世界的に超高齢化が進み、医療予算の拡大とその質の向上という相反する課題を解決しなければならない状況が訪れている。この様な状況下で、景気動向に左右される事が少ないヘルスケア事業が注目され、参入を目指す企業が増えている。今回の講演では医療製品開発の要件を提示すると共に、ロボティクス分野・拡大を続けるパンデミックに対する世界初のシステムをご紹介し、医療製造の実際をご紹介させていただく予定である。

14:30~15:30 基調講演「日本発の医療イノベーションを世界に: 日本医療機器産業大国に(仮題)」 株式会社 日本医療機器開発機構 代表取締役 医師・医学博士 内田 毅彦

日本は「モノづくり」の匠たる国であり、高い技術力、品質管理能力を保有しており、医療機器の生産が得意なはずなのです。しかし、実際は医療機器分野では 毎年6,000億円以上の輸入超過で推移しています。日本が誇る「モノづくり技術が活かしきれていない。日本医療機器開発機構では、医療機器インキュベーション事業を軸に、日本の医療イノベーション・医療機器産業を活性化し、日本が同分野における世界のリーダーとなることを目指してまいります。

(http://jomdd.com/より転載)

15:50~17:20 **バイオメディカルデザインコースの紹介と研究開発プロジェクト** 九州工業大学 バイオメディカルインフォマティクス研究開発センター長 倉田 博之

17:20~17:50 おわりに

株式会社 モリワカ 専務取締役 (兼)CIO 森若 ジョン 幸次郎

18:00~19:00 **名刺交換会**(参加無料/食事・アルコールの提供はございません) 会場:九州工業大学飯塚キャンパス内 ラーニングアゴラ



## 現場の声をお聞かせください!

バイオメディカルデザインコースでは、医療・福祉の現場で困っていること、解決したいことなどの、ニーズを募集しています。お手伝いできることや、一緒に解決できることがあるかもしれません。

また、これから医療福祉分野への参入を 検討中の企業様、九州工業大学と連携しま せんか?是非、お気軽にご相談ください。

■お問い合わせはこちらまで

九州工業大学

バイオメディカルインフォマティクス研究開発センター(BMIRC)

倉田 博之 MAIL:kurata@bio.kyutech.ac.jp TEL:0948-29-7828

http://www.bimrc.kyutech.ac.jp